

令和6年8月
国際統括官付

ユネスコ ASPnet 新システム稼働後の ユネスコスクール・キャンディデートの扱いについて

1. これまでの状況

令和3年2月の日本ユネスコ国内委員会教育小委員会において、「ユネスコスクールの新たな展開に向けて」の方向性の議論・決定した。

その中で、ユネスコ本部における新規登録の手続きがスムーズに進められにくい状況が続いており、活動の意欲低下が懸念されていたことから、国内手続きを終え、ユネスコへの登録申請待ちの学校を、「ユネスコスクール・キャンディデート」とし、国内におけるユネスコスクールのネットワークへの加入や活動を可能とした。

【ユネスコスクール及びユネスコスクール・キャンディデート数の推移】

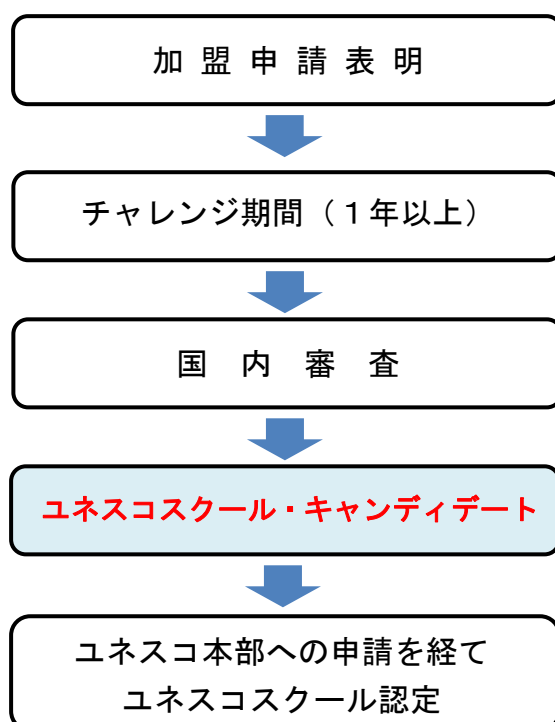
(単位：校、令和6(2024)年3月現在)

	昭和31 年度	～	平成22 年度	平成23 年度	平成24 年度	平成25 年度	平成26 年度	平成27 年度	平成28 年度	平成29 年度	平成30 年度	令和元 年度	令和4 年度	令和5 年度
ユネスコスクール	6	～	277	367	550	705	913	939	1,008	1,033	1,116	1,120	1,115	1,090
キャンディデート	—	～	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	141	188

2. 令和6年9月以降の対応

令和6年9月より、ユネスコ本部のASPnet 新システムが稼働し、新規登録が再開される予定である旨、ユネスコ本部より連絡があったことから、新システム稼働後、全てのユネスコスクール・キャンディデートが認定手続きを完了した時点で、ユネスコスクール・キャンディデートの仕組みを終了とする。

<加盟申請の流れ>



ユネスコ本部の ASPnet
新システムが稼働し、全
てのユネスコスクー
ル・キャンディデートが
認定されたら終了